



本能学区 まちづくりのしおり

—歴史の残る職住共存地区のまちを継承するための地区計画について—

平成14年8月に、本能学区の今後のまちづくりを進めていく方針として、地区計画を都市計画決定しました。このしおりは、地区計画の内容をよりわかりやすく伝えるために作成しました。

なお、内容については、本能学区の皆さんの思いが伝わるよう、学区の皆さんとともに検討を重ねたものです。

平成15年3月 京都市

1. 「本能学区まちづくりのしおり」とは

しおり作成のねらい

- ・ 本能学区で平成 14 年に作成した地区計画の方針は、現在京都市の都市計画に正式に位置づけられています（内容は 6 P を参照ください）。これは、こうしななければならないという強制力はもっていませんが、職住共存の良好な生活環境・活発な自治活動の継承維持発展、また望ましい建築や土地利用のあり方についての学区の思いを明文化したものであり、これを学区民が共有すること、さらに多方面に発信して実現を促すことをめざしています。
- ・ しかし短い文章表現では十分に描ききれず、それだけを読んで本能学区が望んでいるまちの姿を把握することに限界があります。そこで「しおり」として別冊にし、地域の思いが、より具体的に伝達できるようにしました。

内容について

まず、このしおりに描いているまちの姿を、学区民の思いとして共有することが重要です。内容については、アンケートや意見交換の場を持っていろいろ検討してきました。今後も常にまちの姿を点検するという姿勢は必要ですから、もし、ご意見等がありましたら、自治連合会・まちづくり委員会まで是非お寄せください。

学区まちづくりへのご協力をお願い

学区の皆様へ

「地区計画の方針」に掲げたよりよいまちの姿を実現するためには、私たち一人ひとりの取組が必要です。まず、このしおりをお読みいただくことから始めて、より積極的に地域の自治活動にご参加・ご協力ください。

学区内で建築をされる皆様へ

個々の敷地や建物は、私的な物であると同時に「まち」という公共空間の構成に大きな影響力を持つものです。そういった観点から、本能学区として増やしていきたい建物についての思いをこの冊子にまとめました。ご熟読いただき、不明な点をご質問いただいて、趣旨をご理解の上、地域の思いを設計や工事に反映していただきますようお願いいたします。また、本しおりは本能学区の地域特性や生活文化を知っていただく情報源としてもお使いください。